

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2000-172648

(P2000-172648A)

(43) 公開日 平成12年6月23日 (2000.6.23)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード* (参考)
G 0 6 F 15/00	3 3 0	G 0 6 F 15/00	3 3 0 Z 5 B 0 8 5
G 0 9 C 1/00	6 2 0	G 0 9 C 1/00	6 2 0 Z 5 J 1 0 4
	6 4 0		6 4 0 Z 9 A 0 0 1
5/00		5/00	

審査請求 未請求 請求項の数10 O L (全 9 頁)

(21) 出願番号 特願平10-351032

(22) 出願日 平成10年12月10日 (1998. 12. 10)

(71) 出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番1号

(72) 発明者 田中 清人

東京都新宿区西新宿3丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(72) 発明者 山中 喜義

東京都新宿区西新宿3丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(74) 代理人 100069981

弁理士 吉田 精孝

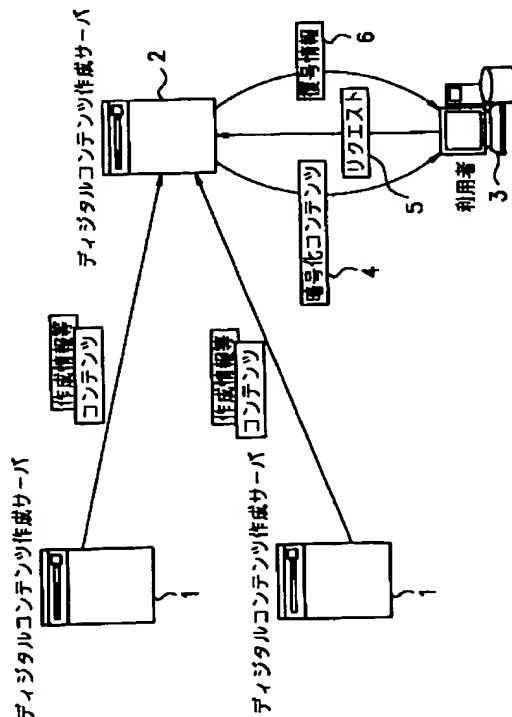
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 デジタル情報保護装置及びデジタル情報保護方法並びにデジタル情報保護プログラムを記録した記憶媒体

(57) 【要約】

【課題】 デジタルコンテンツの著作権を適切に保護し得る装置及びその方法並びにそのプログラムを記録した記憶媒体を提供すること。

【解決手段】 配布サーバ2において、暗号化されたデジタルコンテンツに当該コンテンツの種類、作成日付等の情報を第三者が容易に判別不可能でかつ簡単には分離不可能な電子透かし形式で埋め込み、暗号化コンテンツ4として利用者3に配布し、利用者3は装置に依存しない中間言語形式で記述された、前記電子透かし情報を解釈し実行するためのプログラムにより前記コンテンツの種類、作成日付等の情報を取り出し、これにデジタル署名を施して配布サーバ2にリクエスト5を出し、これを検証した配布サーバ2からの復号情報6を用いて暗号化されたデジタルコンテンツを復号する。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画像、音声等のデジタル情報を暗号化して配布するサーバと、該暗号化されたデジタル情報を復号して様々な処理を行う利用者端末とがネットワークを介して接続されてなるシステムにおけるデジタル情報保護装置であって、

サーバは、

暗号化されたデジタル情報の種類等を該暗号化されたデジタル情報に電子透かし情報として埋め込む手段と、

中間言語形式で記述され、前記埋め込まれた電子透かし情報を解釈し実行するための実行プログラムを用意する手段とを備え、

利用者端末は、

サーバから前記実行プログラムをダウンロードする手段と、

ダウンロードした前記実行プログラムにより前記暗号化されたデジタル情報に埋め込まれた電子透かし情報から、前記暗号化されたデジタル情報の種類等を取り出す手段と、

取り出した情報中の前記暗号化されたデジタル情報の種類等と、利用者の名前と、自己署名形式のデジタル証明書とに対して公開鍵暗号方式の秘密鍵でデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介してサーバに送信する手段とを備え、

また、サーバは、

利用者端末から送信され受信した情報中のデジタル署名を検証し、検証結果が正しければデジタル情報を暗号化するために使用した暗号化鍵を、前記受信した情報中のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化するとともにデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介して利用者端末に送信する手段を備えたことを特徴とするデジタル情報保護装置。

【請求項 2】 画像、音声等のデジタル情報を暗号化して配布するサーバと、該暗号化されたデジタル情報を復号して様々な処理を行う利用者端末とがネットワークを介して接続されてなるシステムにおけるデジタル情報保護装置であって、

サーバは、

デジタル情報を共通鍵暗号方式で暗号化するとともに暗号化鍵を保存する手段と、

前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等をサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化し、デジタル署名を施す手段と、

これらの情報及びサーバのデジタル証明書を前記暗号化されたデジタル情報に電子透かし情報として埋め込む手段と、

中間言語形式で記述され、前記埋め込まれた電子透かし情報を解釈し実行するための実行プログラムを用意する

手段と、

前記実行プログラムをサーバからダウンロードするためのダウンロードプログラムを前記電子透かし情報が埋め込まれたデジタル情報に付加し、これらの情報を利用者に配布する手段とを備え、

利用者端末は、

前記暗号化されたデジタル情報に付加された前記ダウンロードプログラムを取り出す手段と、

10 取り出した前記ダウンロードプログラムによりサーバから前記実行プログラムをダウンロードする手段と、

ダウンロードした前記実行プログラムにより公開鍵暗号方式の鍵ペアを生成するとともに、利用者の名前、当該鍵ペアのうちの公開鍵等を含む自己署名形式のデジタル証明書を作成する手段と、

ダウンロードした前記実行プログラムにより前記暗号化されたデジタル情報に埋め込まれた電子透かし情報から、前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等、デジタル署名及びサーバのデジタル証明書を取り出す手段と、

20 取り出した情報中のデジタル証明書に含まれるサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で、取り出した情報中の前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等についてのデジタル署名を検証し、検証結果が正しければ前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等と、利用者の名前と、前記自己署名形式のデジタル証明書とに対して公開鍵暗号方式の秘密鍵でデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介してサーバに送信する手段とを備え、

また、サーバは、

30 利用者端末から送信され受信した情報中の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で、該受信した情報中のデジタル署名を検証する手段と、

検証結果が正しければ受信した情報中のサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化された部分をサーバの公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号する手段と、

復号した情報についてデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等を検証し、検証結果が正しければデジタル情報を暗号化するために使用した、保存している共通鍵暗号方式の暗号化鍵を取り出す手段と、

40 該暗号化鍵を前記受信した情報中の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化するとともにデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介して利用者端末に送信する手段とを備え、

また、利用者端末は、

サーバから送信され受信した情報を、利用者の公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号するとともにデジタル署名を検証する手段と、

50 検証結果が正しければ復号した共通鍵暗号方式の暗号化

3

鍵を使用して前記暗号化されたデジタル情報を復号する手段とを備えたことを特徴とするデジタル情報保護装置。

【請求項 3】 利用者端末におけるデジタル情報の復号結果等のデジタル暗号処理における結果や途中の情報等は、全て利用者端末の揮発性の記憶装置上に格納することを特徴とする請求項 1 または 2 記載のデジタル情報保護装置。

【請求項 4】 利用者端末で処理が終了あるいは検証結果が正しくない時は直ちに揮発性の記憶装置上の当該データを破棄することを特徴とする請求項 3 記載のデジタル情報保護装置。

【請求項 5】 画像、音声等のデジタル情報を暗号化して配布するサーバと、該暗号化されたデジタル情報を復号して様々な処理を行う利用者端末とがネットワークを介して接続されてなるシステムにおけるデジタル情報保護方法であって、

サーバは、

暗号化されたデジタル情報の種類等を該暗号化されたデジタル情報に電子透かし情報として埋め込み、

中間言語形式で記述され、前記埋め込まれた電子透かし情報を解釈し実行するための実行プログラムを用意し、利用者端末は、

サーバから前記実行プログラムをダウンロードし、

ダウンロードした前記実行プログラムにより前記暗号化されたデジタル情報に埋め込まれた電子透かし情報から、前記暗号化されたデジタル情報の種類等を取り出し、

取り出した情報中の前記暗号化されたデジタル情報の種類等と、利用者の名前と、自己署名形式のデジタル証明書とに対して公開鍵暗号方式の秘密鍵でデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介してサーバに送信し、

また、サーバは、

利用者端末から送信され受信した情報中のデジタル署名を検証し、

検証結果が正しければデジタル情報を暗号化するために使用した暗号化鍵を、前記受信した情報中のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化するとともにデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介して利用者端末に送信することを特徴とするデジタル情報保護方法。

【請求項 6】 画像、音声等のデジタル情報を暗号化して配布するサーバと、該暗号化されたデジタル情報を復号して様々な処理を行う利用者端末とがネットワークを介して接続されてなるシステムにおけるデジタル情報保護方法であって、

サーバは、

デジタル情報を共通鍵暗号方式で暗号化するとともに暗号化鍵を保存し、

4

前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等をサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化し、デジタル署名を施し、

これらの情報及びサーバのデジタル証明書を前記暗号化されたデジタル情報に電子透かし情報として埋め込み、

中間言語形式で記述され、前記埋め込まれた電子透かし情報を解釈し実行するための実行プログラムを用意し、前記実行プログラムをサーバからダウンロードするためのダウンロードプログラムを前記電子透かし情報が埋め込まれたデジタル情報に付加し、これらの情報を利用者者に配布し、

利用者端末は、

前記暗号化されたデジタル情報に付加された前記ダウンロードプログラムを取り出し、

取り出した前記ダウンロードプログラムによりサーバから前記実行プログラムをダウンロードし、

ダウンロードした前記実行プログラムにより公開鍵暗号方式の鍵ペアを生成するとともに、利用者の名前、当該鍵ペアのうちの公開鍵等を含む自己署名形式のデジタル証明書を作成し、

ダウンロードした前記実行プログラムにより前記暗号化されたデジタル情報に埋め込まれた電子透かし情報から、前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等、デジタル署名及びサーバのデジタル証明書を取り出し、

取り出した情報中のデジタル証明書に含まれるサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で、取り出した情報中の前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等についてのデジタル署名を検証し、検証結果が正しければ前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等と、利用者の名前と、前記自己署名形式のデジタル証明書とに対して公開鍵暗号方式の秘密鍵でデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介してサーバに送信し、

また、サーバは、

利用者端末から送信され受信した情報中の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で、該受信した情報中のデジタル署名を検証し、

検証結果が正しければ受信した情報中のサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化された部分をサーバの公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号し、

復号した情報についてデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等を検証し、検証結果が正しければデジタル情報を暗号化するために使用した、保存している共通鍵暗号方式の暗号化鍵を取り出し、

該暗号化鍵を前記受信した情報中の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化するとともにデジタル署名を施し、これら

の情報をネットワークを介して利用者端末に送信し、
 また、利用者端末は、
 サーバから送信され受信した情報を、利用者の公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号するとともにデジタル署名を検証し、
 検証結果が正しければ復号した共通鍵暗号方式の暗号化鍵を使用して前記暗号化されたデジタル情報を復号することを特徴とするデジタル情報保護方法。

【請求項 7】 利用者端末におけるデジタル情報の復号結果等のデジタル暗号処理における結果や途中の情報等は、全て利用者端末の揮発性の記憶装置上に格納することを特徴とする請求項 5 または 6 記載のデジタル情報保護方法。

【請求項 8】 利用者端末で処理が終了あるいは検証結果が正しくない時は直ちに揮発性の記憶装置上の当該データを破棄することを特徴とする請求項 7 記載のデジタル情報保護方法。

【請求項 9】 画像、音声等のデジタル情報を暗号化して配布するサーバと、該暗号化されたデジタル情報を復号して様々な処理を行う利用者端末とがネットワークを介して接続されてなるシステムにおけるデジタル情報保護プログラムを記録した記憶媒体であって、前記プログラムは、
 サーバを構成するコンピュータに、
 暗号化されたデジタル情報の種類等を該暗号化されたデジタル情報に電子透かし情報として埋め込み、
 中間言語形式で記述され、前記埋め込まれた電子透かし情報を解釈し実行するための実行プログラムを用意する動作を実行させ、
 利用者端末を構成するコンピュータに、
 サーバから前記実行プログラムをダウンロードし、
 ダウンロードした前記実行プログラムにより前記暗号化されたデジタル情報に埋め込まれた電子透かし情報から、前記暗号化されたデジタル情報の種類等を取り出し、
 取り出した情報中の前記暗号化されたデジタル情報の種類等と、利用者の名前と、自己署名形式のデジタル証明書とに対して公開鍵暗号方式の秘密鍵でデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介してサーバに送信する動作を実行させ、
 また、サーバを構成するコンピュータに、
 利用者端末から送信され受信した情報中のデジタル署名を検証し、
 検証結果が正しければデジタル情報を暗号化するために使用した暗号化鍵を、前記受信した情報中のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化するとともにデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介して利用者端末に送信する動作を実行させることを特徴とするデジタル情報保護プログラムを記録した記憶媒体。

【請求項 10】 画像、音声等のデジタル情報を暗号化して配布するサーバと、該暗号化されたデジタル情報を復号して様々な処理を行う利用者端末とがネットワークを介して接続されてなるシステムにおけるデジタル情報保護プログラムを記録した記憶媒体であって、前記プログラムは、
 サーバを構成するコンピュータに、
 デジタル情報を共通鍵暗号方式で暗号化するとともに暗号化鍵を保存し、
 前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等をサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化し、デジタル署名を施し、
 これらの情報及びサーバのデジタル証明書を前記暗号化されたデジタル情報に電子透かし情報として埋め込み、
 中間言語形式で記述され、前記埋め込まれた電子透かし情報を解釈し実行するための実行プログラムを用意し、
 前記実行プログラムをサーバからダウンロードするためのダウンロードプログラムを前記電子透かし情報が埋め込まれたデジタル情報に付加し、これらの情報を利用者に配布する動作を実行させ、
 利用者端末を構成するコンピュータに、
 前記暗号化されたデジタル情報に付加された前記ダウンロードプログラムを取り出し、
 取り出した前記ダウンロードプログラムによりサーバから前記実行プログラムをダウンロードし、
 ダウンロードした前記実行プログラムにより公開鍵暗号方式の鍵ペアを生成するとともに、利用者の名前、当該鍵ペアのうちの公開鍵等を含む自己署名形式のデジタル証明書を作成し、
 ダウンロードした前記実行プログラムにより前記暗号化されたデジタル情報に埋め込まれた電子透かし情報から、前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等、デジタル署名及びサーバのデジタル証明書を取り出し、
 取り出した情報中のデジタル証明書に含まれるサーバの公開鍵暗号方式の公開鍵で、取り出した情報中の前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等についてのデジタル署名を検証し、検証結果が正しければ前記暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等と、利用者の名前と、前記自己署名形式のデジタル証明書とに対して公開鍵暗号方式の秘密鍵でデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介してサーバに送信する動作を実行させ、
 また、サーバを構成するコンピュータに、
 利用者端末から送信され受信した情報中の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で、該受信した情報中のデジタル署名を検証し、
 検証結果が正しければ受信した情報中のサーバの公開鍵

7

暗号方式の公開鍵で暗号化された部分をサーバの公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号し、

復号した情報についてデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等を検証し、検証結果が正しければデジタル情報を暗号化するために使用した、保存している共通鍵暗号方式の暗号化鍵を取り出し、該暗号化鍵を前記受信した情報中の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化するとともにデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介して利用者端末に送信する動作を実行させ、

また、利用者端末を構成するコンピュータに、サーバから送信され受信した情報を、利用者の公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号するとともにデジタル署名を検証し、検証結果が正しければ復号した共通鍵暗号方式の暗号化鍵を使用して前記暗号化されたデジタル情報を復号する動作を実行させることを特徴とするデジタル情報保護プログラムを記録した記憶媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、画像、音声等のデジタル情報（デジタルコンテンツ）をネットワークやCD-ROMを介して配布する際の著作権を保護するための装置及びその方法並びにそのプログラムを記録した記憶媒体に関するものである。

【0002】

【従来の技術】近年、デジタルコンテンツの流通に適したインターネットの爆発的な普及や、デジタルコンテンツに対し表示、再生等の様々な処理を行うことのできるパーソナルコンピュータ等の高機能、高性能化に伴い、ネットワークやCD-ROMを介して配付されたデジタルコンテンツの利用が盛んになっている。

【0003】ところで、デジタルコンテンツの場合、デジタル信号の特性上、コピーを何世代に亘って行っても品質が劣化しないため、正規のユーザ（利用者）以外の者が複製品を利用する、いわゆる違法コピー等の著作権の侵害行為が行われ易い。

【0004】そこで、コンテンツの著作権を厳しく保護しようとする場合、コンテンツをデジタル暗号技術により暗号化して配付し、正規の利用者には暗号化されたコンテンツを復号する暗号鍵を配付することによりその利用を可能とする等の方法が採られていた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述のように暗号化したコンテンツを配付し、正規の利用者に暗号鍵を配付する場合、一般に、使用期限や正規の利用者かどうかを判別する情報については暗号化したコンテンツとは別の領域、即ちコンテンツのヘッダ情報等に格納していたため、容易にヘッダ領域から利用者や当該コンテ

8

ツに関する情報等を除去したり、別のデータに書き替えて不正な行為を行うことができるという欠点があった。また、以前に配付された暗号鍵を使用して、使用期限が終了した後も当該コンテンツを使用できるという欠点があった。

【0006】本発明の目的は、デジタルコンテンツの著作権を適切に保護し得る装置及びその方法並びにそのプログラムを記録した記憶媒体を提供することにある。

【0007】

10 【課題を解決するための手段】本発明では上記目的を達成するため、暗号化されたデジタル情報に第三者が容易に判別不可能で、かつ簡単には分離不可能な電子透かし（例えば、中村高雄、小川宏、高嶋洋一「デジタル画像の著作権保護のための周波数領域における電子透かし方式」（1997年 暗号と情報セキュリティシンポジウム（SCIS97）26A）、井上彰「電子透かし」（丸山学芸図書）、「『電子透かし』がマルチメディア時代を守る」（日経エレクトロニクス、1997、2-24（No. 683）、pp. 99-124）参照）形式で当該デジタル情報の種類、作成日付等の情報を挿入し、これらの形式で利用者にデジタル情報を配付する。さらに、埋め込まれた電子透かし情報を解釈し実行するための中間言語形式のプログラムを用意する。

20 【0008】また、本発明では上記目的を達成するため、画像、音声等のデジタル情報を暗号化して配布するサーバと、該暗号化されたデジタル情報を復号して様々な処理を行う利用者端末とがネットワークを介して接続されてなるシステムにおいて、デジタル情報を配付するサーバは、利用者に配付するデジタル情報を共通鍵暗号方式で暗号化するとともに暗号化鍵を保存する。

30 【0009】サーバはデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等をサーバの公開鍵暗号方式の秘密鍵で暗号化し、さらに当該情報についてデジタル署名を施し、これらの情報及びサーバのデジタル証明書を前記暗号化されたデジタル情報に第三者が容易に判別不可能な電子透かし情報の形式で挿入する。

40 【0010】次に、装置に依存しない中間言語形式で記述され、挿入された電子透かし情報を解釈し実行するためのプログラムを用意するとともに、当該プログラムをサーバからダウンロードするためのダウンロードプログラムを、電子透かし情報が埋め込まれたデジタル情報に付け加えることにより、利用者に配布するデジタル情報を作成する。

50 【0011】デジタル情報を利用者に配付する時は、前記サーバにより作成されたデジタル情報とし、利用者が暗号化されたデジタル情報を使用する時は、配付されたデジタル情報に付け加えられたダウンロードプログラムを使用してサーバからプログラムをダウンロー

ドする。

【0012】利用者はこのダウンロードしたプログラムを実行することにより公開鍵暗号方式の鍵ペアを生成するとともに、利用者名、当該鍵ペアのうちの公開鍵等を含む自己署名形式のデジタル証明書を作成する。さらにダウンロードしたプログラムを実行することにより暗号化されたデジタル情報に挿入された電子透かし情報を取り出し、取り出した情報中のサーバのデジタル証明書について公開鍵暗号方式の公開鍵を取り出し、さらに電子透かし情報から取り出した暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等についてデジタル署名を検証する。

【0013】次に、暗号化されたデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等と、利用者の名前と、利用者の自己署名形式のデジタル証明書と、これらの情報に対する利用者のデジタル署名をサーバに送信する。

【0014】サーバは利用者からの情報を受信したなら、利用者の自己署名形式のデジタル証明書から取り出した公開鍵で受信情報が正しいか検証する。検証結果が正しければサーバは受信情報に含まれる暗号化された情報を保存しているサーバの公開鍵暗号の秘密鍵で復号し、受信した情報についてデジタル情報の種類、作成日付、有効期限等を検証する。

【0015】これらの検証結果も正しければデジタル情報を暗号化するために使用した保存されている暗号化鍵を取り出し、該暗号化鍵を前記受信情報に含まれた利用者の自己署名形式のデジタル証明書から取り出した利用者の公開鍵で暗号化するとともにデジタル署名を生成する。暗号化した暗号化鍵情報とデジタル署名を利用者へ送信する。

【0016】利用者は送信情報を受信したなら、ダウンロードしたプログラムを使用して自己署名形式のデジタル証明書に対応する秘密鍵で暗号化された暗号化鍵を復号するとともにデジタル署名を検証する。検証結果が正しければ復号した暗号化鍵で暗号化されたデジタル情報を復号し、当該情報を表示、印刷等の処理を行う。

【0017】また、利用者端末におけるデジタル情報の復号結果等のデジタル暗号処理における結果や途中の情報等は、全て利用者端末の揮発性の記憶装置上に格納する。さらに、利用者端末で処理が終了あるいは検証結果が正しくない時は直ちに揮発性の記憶装置上の当該データを破棄することにより、デジタルコンテンツの不正な利用を防ぐ。

【0018】本発明によれば、ネットワーク上でデジタル情報を配付し、使用者が表示、再生等の処理を行う場合、これらのデジタル情報の著作権について最適な保護手段を提供できる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実

施の形態について説明する。

【0020】図1は、本発明によるデジタル情報保護システムの実施の形態の一例を示すもので、図中、1はデジタルコンテンツを作成するサーバ、2はサーバ1で作成されたデジタルコンテンツを利用者に配付するサーバ、3は利用者が使用する端末装置（利用者端末）であり、これらは図示しないネットワークで接続されている。

【0021】本システムの概略を、図1を使用して説明する。

【0022】デジタルコンテンツは作成者がデジタルコンテンツ作成サーバ1で作成し、作成したデジタルコンテンツと該コンテンツに関する作成情報等をデジタルコンテンツ配付サーバ2に送信する。デジタルコンテンツ配付サーバ2は受信したデジタルコンテンツについて、利用者に配付するためのデジタル情報を作成し、これらを暗号化コンテンツ4として利用者3に配付する。利用者への配付はネットワークで行ったり、CD-ROMのような媒体の形式で配付しても良い。

【0023】利用者3は配付された暗号化コンテンツ4を利用する時は、配付サーバ2に所定の情報をリクエスト（利用要求）5として送信する、配布サーバ2はリクエスト5を受信したならその内容を検査し、正しければデジタルコンテンツを暗号化するために使用した暗号化鍵を復号情報6として利用者3に送信する。利用者3は復号情報6を使用して元のデジタルコンテンツに戻し、表示や印刷の処理を行う。

【0024】これらの処理について、図2乃至図4を使用して詳細に説明する。

【0025】図2は図1中の暗号化コンテンツ4の形式を示しており、図3はデジタルコンテンツ配布サーバ2で配付するデジタルコンテンツを作成する時の処理を示すフローチャート、図4は配付されたデジタルコンテンツを使用する時の処理を示すフローチャートである。

【0026】デジタルコンテンツ配布サーバ2で図2の情報を作成する時は、まず、デジタルコンテンツを暗号化するための共通鍵暗号方式の暗号化鍵を生成し、本暗号化鍵を使用してデジタル情報を暗号化する（s11）。次に、本デジタルコンテンツに関する情報、即ち種類、作成日付、有効期限、識別番号、作成者、デジタルコンテンツ配布サーバ2のアドレス等を、デジタルコンテンツ配布サーバ2の公開鍵暗号方式の公開鍵で暗号化する（s12）。s12で作成した情報にデジタル署名を施し（s13）、配付途中での情報の改ざんを防ぐ。

【0027】次に、s12で暗号化したデジタルコンテンツに関する情報、s13で作成したデジタル署名及び配布サーバ2のデジタル証明書をs11で作成した暗号化デジタルコンテンツに、第三者が検知できな

いような電子透かし形式で埋め込む（s 14）。

【0028】また、一方、電子透かし情報として埋め込んだ情報を取り出し、解釈し実行する実行プログラムを、機種に依存しない中間言語形式で用意する（s 15）。

【0029】さらに、s 15のプログラムをダウンロードするための中間言語形式の通信用（ダウンロード）プログラムを作成し、s 14の情報に付け加える（s 16）。s 16で作成した情報を利用者に配付する（s 17）。配付手段としては、ネットワークを使用して電子的に行っても、CD-ROMのような形態で配付しても良く、その配付形態は問わない。

【0030】さて、配付されたデジタル情報を利用者が使用する方法について、図4のフローチャートを用いて説明する。ここで、s 21～s 28は利用者端末3の処理であり、s 31～s 34は配付サーバ2の処理である。

【0031】利用者は配付されたデジタル情報から図2に示すダウンロードを行うための通信用中間言語プログラムを取り出す（s 21）。本プログラムはただ単に付加された形式であるので、利用者は容易に取り出すことができる。また、機種に依存しない中間言語形式、例えばJ A V Aアプレットのようなものであるので、J A V Aのような中間言語プログラムを実行する機能を有していれば、どのような機種でも実行可能である。

【0032】さて、s 21で取り出したダウンロードプログラムにより、図3のs 15で用意した実行プログラムを配付サーバ2によりダウンロードする（s 22）。次に、s 22でダウンロードした実行プログラムを使用して、公開鍵暗号方式における利用者用の公開鍵と秘密鍵の鍵ペアを生成するとともに、自分の秘密鍵で署名した自己署名形式のデジタル証明書を作成する（s 23）。

【0033】次に、配付されたデジタル情報に電子透かしの形態で埋め込まれた情報を、s 22でダウンロードしたプログラムにより取り出す（s 24）。

【0034】取り出した情報中のデジタル証明書に含まれる配付サーバ2の公開鍵暗号方式の公開鍵により、取り出した情報中の前記暗号化されたデジタルコンテンツの種類、作成日付、有効期限等についてのデジタル署名を検証する。検証結果が正しければ、s 24で取り出した、暗号化されたデジタルコンテンツの種類、作成日付、有効期限等の情報と、利用者の名前と、s 23で作成した自己署名形式のデジタル証明書とに対して利用者の公開鍵暗号方式の秘密鍵でデジタル署名を行う（s 25）。

【0035】次に、s 24で取り出した、暗号化されたデジタルコンテンツの種類、作成日付、有効期限等の情報と、利用者名と、s 23で作成した自己署名形式のデジタル証明書と、デジタル署名した結果をネット

ワークを介して配付サーバ2へ送信する（s 26）。

【0036】配付サーバ2はs 26で送信され受信した情報中の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵で、該受信した情報中のデジタル署名を検証する（s 31）。デジタル署名の検証結果が正しければ、利用者から送信された情報のうち、図3のs 12の処理で作成された暗号化情報を取り出し、それを配付サーバ2の公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号する（s 32）。

10 【0037】復号した情報についてデジタルコンテンツの種類、作成日付、有効期限等を検証し、それが正しければ、図3のs 11でデジタルコンテンツそのものを暗号化するのに使用した暗号化鍵を保存してあるところから取り出し（s 33）、次に、この暗号化鍵を受信した情報中の利用者の自己署名形式のデジタル証明書に含まれる利用者の公開鍵暗号方式の公開鍵により暗号化し、さらにデジタル署名を施し、これらの情報をネットワークを介して利用者3へ送信する（s 34）。

20 【0038】利用者3はs 34の処理で配付サーバ2から送信された情報を受信したなら、その情報を利用者の公開鍵暗号方式の秘密鍵で復号するとともに、デジタル署名を検証する（s 27）。デジタル署名の検証結果が正しければs 11で暗号化されたデジタルコンテンツを復号した暗号化鍵を使用して復号し、その結果を画面に表示したり、印刷したりする（s 28）。

30 【0039】利用者端末3におけるこれらの処理は全て揮発性のメモリ上で実行・格納され、不揮発性の記憶装置上では行わない。また、検証結果が不正な時や、途中で処理を中断する時は、利用者端末3で実行している状態や情報は直ちに破棄する。

【0040】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、ネットワーク上でデジタル情報を配付し、使用者が表示、再生等の処理を行う場合、これらのデジタル情報について有効期限等のチェックができ、不正な利用を防ぐことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態の一例を示すシステム構成図

40 【図2】利用者に配付する暗号化されたデジタルコンテンツの形式を示す説明図

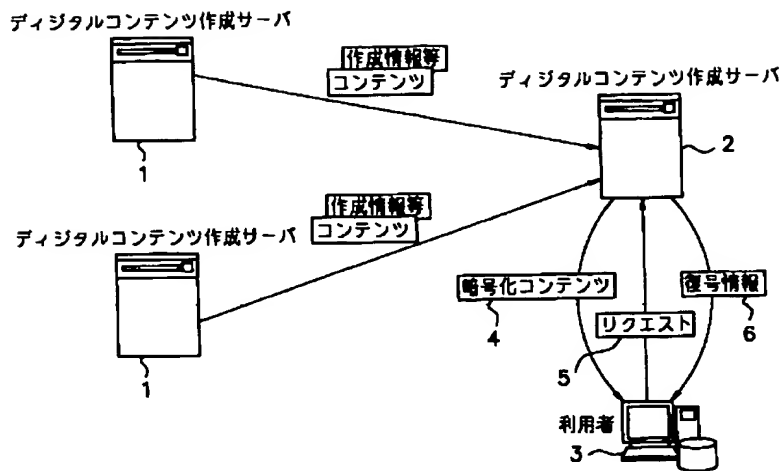
【図3】配付するデジタルコンテンツの作成時の処理フローチャート

【図4】配付されたデジタルコンテンツの使用時の処理フローチャート

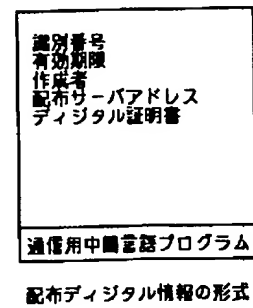
【符号の説明】

1：デジタルコンテンツ作成サーバ、2：デジタルコンテンツ配付サーバ、3：利用者、4：暗号化コンテンツ、5：リクエスト、6：復号情報。

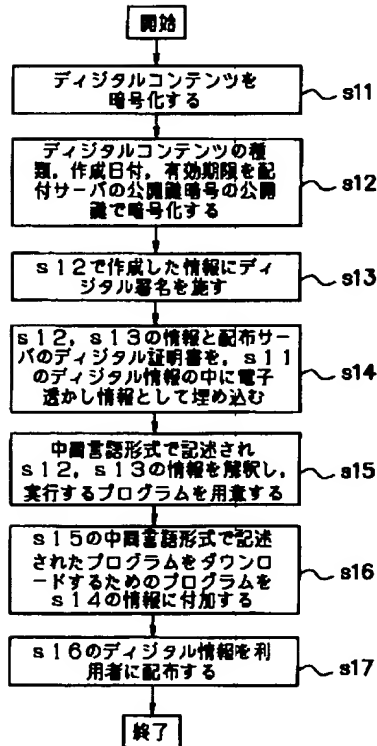
【図 1】



【図 2】

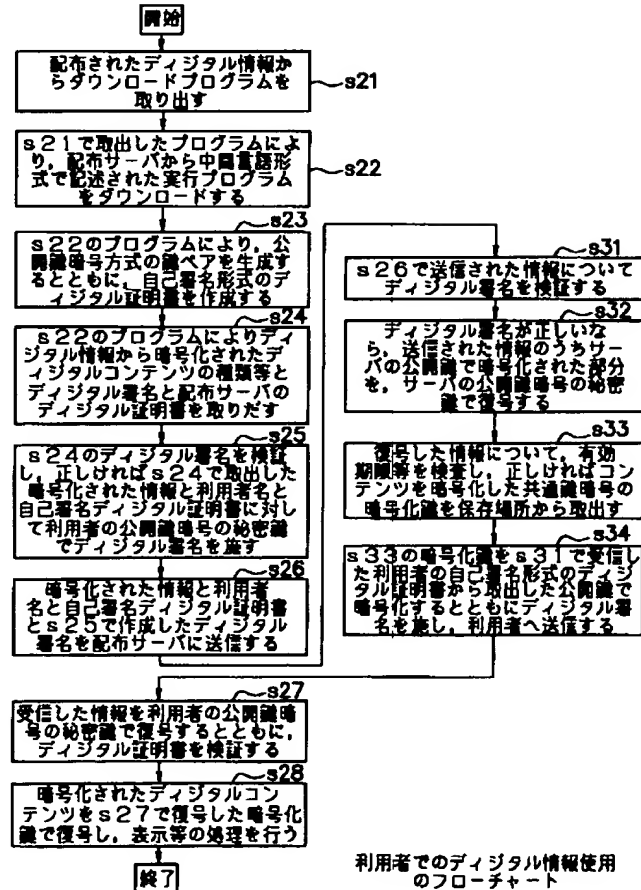


【図 3】



利用者へ配布するデジタル情報の作成フローチャート

【図 4】



利用者でのデジタル情報使用のフローチャート

フロントページの続き

(72) 発明者 伴野 明
東京都新宿区西新宿 3 丁目 19 番 2 号 日本
電信電話株式会社内

(72) 発明者 久保田 幸宏
東京都新宿区西新宿 3 丁目 19 番 2 号 日本
電信電話株式会社内

(72) 発明者 日高 朋子
東京都新宿区西新宿 3 丁目 19 番 2 号 日本
電信電話株式会社内

(72) 発明者 松谷 章司
東京都新宿区西新宿 3 丁目 19 番 2 号 日本
電信電話株式会社内

F ターム (参考) 5B085 AE06 AE13 AE29
5J104 AA01 AA09 AA14 EA19 KA01
KA05 NA02 NA37 PA07 PA14
9A001 BB02 BB03 BB04 CC03 DD10
DZ02 EE03 JJ13 JJ18 JJ25
JJ27 KK60 KZ11 LL03